

SHINWA WISE HOLDINGS

2019年5月期
決算説明会資料



Shinwa Wise Holdings 株式会社

JASDAQ : 2 4 3 7

SHINWA WISE HOLDINGS

1

2019年5月期
決算の状況

1

1 全社

増収 増益により赤字幅縮小

売上高：	2,932百万円	(前年同期：2,781百万円 前年比：5.4%増)	対前年増減額：151百万円増)
営業利益：	▲86百万円	(前年同期：▲181百万円)	対前年増減額：95百万円増)
経常利益：	▲134百万円	(前年同期：▲265百万円)	対前年増減額：131百万円増)
当期純利益：	▲56百万円	(前年同期：▲257百万円)	対前年増減額：201百万円増)

要因 ・オークション関連事業の大幅な売上増加
 ・エネルギー関連事業の改善

2

2 オークション関連事業

大幅な増収 減益

売上高：	2,133百万円	(前年比：44.6%増)
セグメント利益：	63百万円	(前年比：▲54.8%)
取扱高：	4,609百万円	(前年比：7.8%増)

要因 会場改装工事及びShinwa Priveの画廊スペース新設工事を行っており、オークションの開催回数は、前年同期より3回少ない26回であったが、近代陶芸オークション、その他オークション (Bags / Jewellery & Watchesオークション・ワインオークション・西洋美術オークション・(NEW) MANGAオークション・(特別オークション)Y氏コレクション-ART JUNGLE、プライベートセール部門が業績を牽引。

3

3 エネルギー関連事業

減収 増益、赤字の縮小

売上高：	747百万円	(前年比：▲40.8%)
セグメント損失：	▲64百万円	(前年同期：▲226百万円)

4

4 その他

マイクロファイナンス事業の売却

特別利益；121百万円の計上

増収 増益により赤字幅縮小

(単位：百万円)

	2018年5月期 実績	2019年5月期 実績		
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	2,781	2,932	151	5.4%
(セグメント売上高)				
オークション関連事業	1,475	2,133	658	44.6%
エネルギー関連事業	1,262	747	△515	△40.8%
売上総利益	909	864	△45	△4.9%
販売費及び 一般管理費	1,091	950	△141	△12.9%
営業利益	△181	△86	95	-
(セグメント利益)				
オークション関連事業	140	63	△77	△54.8%
エネルギー関連事業	△226	△64	162	-
経常利益	△265	△134	131	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△257	△56	201	-

SHINWA AUCTION

Shinwa Privé

SHINWA MARKET

オークション関連事業

オークション開催：26回（▲3回）

取扱高： 4,609百万円（前年比： 7.8%増）

売上高： 2,133百万円（前年比： 44.6%増）

セグメント利益： 63百万円（前年比： ▲54.8%）

単位：百万円	開催回数 (増減)	取扱高 (前年比)	売上高 (前年比)	出品数	落札数 (落札点数)	落札率 %	平均落札 単価	E (注1)
近代美術オークション	5回 (▲1)	1,131 (▲39.6%)	267 (▲25.7%)	530 (▲21.8%)	409 (▲25.6%)	77.2	▲18.2%	125.8%
近代陶芸オークション	4回	400 (+34.0%)	88 (+47.8%)	736 (▲2.4%)	679 (▲5.6%)	92.3	41.0% 古美術が引き続き好調	158.9%
近代美術PartII オークション	5回 (▲1)	164 (▲33.2%)	38 (▲34.7%)	1,225 (▲17.3%)	1,023 (▲22.1%)	83.5	▲14.1%	135.8%
その他オークション合計	12回	1,130 (+14.7%)	168 (▲10.8%)	3,323	2,044	61.5	—	—
その他オークション ●Bags / Jewellery & Watchesオークション(4回) ●ワインオークション(3回) ●西洋美術オークション(2回) ●(NEW)MANGAオークション(2回) ●(特別オークション)Y氏コレクション-ART JUNGLE(1回)								
プライベートセール	—	1,776 (+110.2%)	1,548 (+100.8%)	—	—	—	—	—
その他	—	5 (▲81.2%)	22 (▲40.0%)	—	—	—	—	—
合計	26回	4,609 (+7.8%)	2,133 (+44.6%)	—	—	—	—	—

注1：Eはエスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額

SHINWA ARTEX

エネルギー関連事業

減収 増益、赤字の縮小

売上高： 747百万円 (前年比： ▲40.8%)
セグメント損失： ▲64百万円 (前年同期： ▲226百万円)

概要

- 1) 50kW級の低圧型太陽光発電施設：販売実績:20基
経済産業省による電力の買取価格は継続的に引き下げられており、
収益目線で投資対象となる新たな案件の確保が困難。
- 2) マレーシアにおけるPKS事業：販売実績：2万トン
仕入原価等の見直しに取り組み赤字幅は縮小。継続して改善が必要な状況。
- 3) 自社保有の太陽光発電施設による売電事業の売上は順調に推移。

その他

概要

- 1) ウェルスマネジメント分野における米国テキサス州の海外不動産販売紹介事業
：販売実績9件。
- 2) ミャンマー連邦共和国マイクロファイナンス事業を121百万円で売却（特別利益）。
- 3) 高額ダイヤモンド販売事業は、引き続き安定した売上高で推移。

【総資産の内訳】

流動資産が1,395,810千円減の3,238,348千円、固定資産は10,665千円増の1,497,328千円。

【流動資産の内訳】

現金及び預金1,223,162千円（前年比880,803千円の減少）、売掛金19,121千円（401,578千円の減少）、商品1,297,117千円（前年比70,446千円の増加）、前渡金147,991千円（前年比245,493千円の減少）。

【固定資産の内訳】

建物及び構築物（純額）68,388千円（前年比63,534千円の増加）、機械装置及び運搬具（純額）847,594千円（前年比58,679千円の減少）。

【負債の内訳】

流動負債が1,264,425千円減の1,942,791千円、固定負債が109,679千円減の896,948千円。

【流動負債の内訳】

短期借入金1,112,542千円（前年比853,958千円の減少）、1年内返済予定の長期借入金147,932千円（前年比92,740千円の減少）
オークション未払金274,563千円（前年比223,550千円の減少）。

【固定負債の内訳】

長期借入金215,340千円（前年比20,072千円の減少）及び長期割賦未払金503,451千円（前年比53,926千円の減少）。

【純資産の内訳】

資本金1,133,142千円（前年比59,361千円の増加）、資本剰余金739,381千円（前年比59,361千円の増加）、利益剰余金247,529千円（前年比102,078千円の減少） 1株当たり純資産額は287.83円、自己資本比率は40.0%。

(単位：百万円)	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当連結会計年度 (2019年5月31日)	増減額
流動資産合計	4,634	3,238	▲1,396
固定資産合計	1,486	1,497	11
資産合計	6,120	4,735	▲1,385
流動負債合計	3,207	1,942	▲1,265
固定負債合計	1,006	896	▲110
負債合計	4,213	2,839	▲1,374
株主資本合計	1,882	1,898	16
純資産合計	1,906	1,895	▲11
負債・純資産合計	6,120	4,735	▲1,385

現金及び現金同等物は、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの増加、財務活動によるキャッシュ・フローの減少の結果559,271千円の資金使用となり、当連結会計年度末の現金及び現金同等物は756,162千円。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、34,191千円（前年は756,197千円の獲得）。

売上債権の減少による資金増加327,849千円に対し、オークション未払金の減少による資金減少223,550千円、未収入金の増加による資金減少157,298千円によるもの。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、405,652千円（前年は67,130千円の獲得）。

関係会社株式の売却による資金増加165,497千円と定期預金の純減少額による資金増加315,815千円によるもの。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、995,227千円（前年度は175,633千円の使用）。

長期借入金による資金増加200,000千円及び株式の発行による資金増加118,002千円に対し、

短期借入金の純減少額による資金減少853,958千円及び長期借入金の返済による資金減少312,812千円によるもの。

(単位：百万円)	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
営業活動CF	756	34
投資活動CF	67	405
財務活動CF	△175	△995
現金及び 現金同等物の期末残高	1,321	756



2020年5月期
業績見込み

黒字化の予想

【オークション関連事業】

古美術やワイン等の一部のオークションで、今後も継続が期待できる一方、昨年後半から近代美術の中低価格帯の相場が急落しており、この状況は、来期も継続すると思われます。

当社グループは、「日本近代美術再生プロジェクト」と題した、日本の近代美術の再評価と価値付けに取り組んでまいりましたが、新たにグループ全体の利益を確実に上げられる企業体質を実現するために、「**アートで収益を上げる**」をスローガンに掲げ、近代美術以外の新たな柱となり得る戦後・現代美術へのシフトを実現し、事業ポートフォリオの早急な見直しを行ってまいります。

【エネルギー関連事業】

低圧型太陽光発電施設販売事業がここ数年内に収束を迎えると思われ、また、PKS事業も収益化の時期は数年先になることが見込まれます。

【その他】

時代を先取りした、新たな事業の研究開発に積極果敢に取り組んでまいります。

(単位：百万円)	2019年5月期 実績	2020年5月期 見込み		
		金額	増減額	増減率
売上高	2,932	2,726	▲206	▲7.0%
営業利益	▲86	79	165	—
経常利益	▲134	34	168	—
親会社に帰属する 当期純利益	▲56	22	78	—

SHINWA WISE HOLDINGS

Shinwa Wise Holdings 株式会社

経理部

03-3569-0030

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。